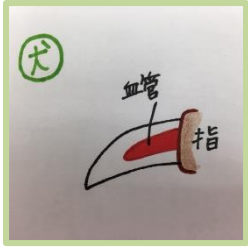


# ★きづっこ新聞★

## vol.36 「犬猫の爪について」

担当 VT：田中

今回は、ワンちゃん・ネコちゃんの爪についてのお話をさせていただきます。  
まず、人間とは違う爪の構造をみてみましょう！



猫ちゃんの爪は  
いくつもの層になって重なって  
出来ています！

断面を見ても分かるように爪の中には血管が通っています。爪切りをする時に、誤って深爪してしまうと痛がる原因は、中に通っている血管も一緒に切ってしまうからですね(◡\_◡)🐾

🐾 爪を放置して、長いままの状態にしておくと、どうなるの？

### ☆肉球に爪が刺さってしまう

伸びたまま放置すると、爪がぐるりと回転して肉球を傷つけてしまうことがあります。刺さった部位の化膿や歩きづらい等の症状が出てきます。よくある例として、老齢のネコちゃんが自分で爪とぎをしなくなってしまい、刺さるまで伸び続けてしまうと起こりやすいので、要注意です！！

### ☆引っかかりやすくなる

歩いているとしゅうたんなどのループに引っかかりやすくなります。引っかったことで、爪が折れたり、引っっこ抜けてしまうことがあります(◡\_◡)

### ☆歩きづらい

お家のフローリングを歩く時に、カチカチと音を立てるようになれば、爪が伸びているサインです。つるんと滑りやすい床では、特に足腰の弱い子や老齢の子であれば滑ると体の負担になります。

🐾 そうならない為にも爪のお手入れを定期的にしてあげましょう！



爪の色が白色で血管のピンク色が透けている子は、血管を切らないよう手前で切りましょう。黒色の子は血管が透けて見えないので、少しずつ切るようにしましょう。



先の尖った部分を控えめにカットするようにしましょう。

ここでは、爪切りのお助けアイテムや爪とぎを一部ご紹介します(^^)/

### ☑血管を切ってしまうと怖い

…クイックストップという粉状の止血剤があります。おそらくペットショップさんでも購入できると思います。もし出血してしまった時に、お家にあると安心ですね。専用の止血剤がなくても、出血部位をガーゼ等で圧迫止血をすれば止まりますよ！

### ☑ストレスなく爪切りさせてあげたい

…よく動物病院で実際使用するのがエリザベスカラーという、えりまきのような物を首に装着して爪切りをします。実際に爪を切られている本人は何をされているのか見えないので、大人しくさせてくれる場合があります。怒ってしまうような子でも噛まれることもないので、飼い主さまも安全です。エリザベスカラーの代用としてバスタオルなどを使って顔を隠しても良いですね(^^)

### ☑爪とぎをしてくれない(ネコちゃんの場合)

…今はいろんなタイプの爪とぎが売られています。その子によって材質や形状の好みは分かれるので、色々試されるのはいかがでしょう。



最後に…お家ではやっぱり爪切りさせてくれない🐾や、手伝ってくれる人がいなくて出来ない(◡\_◡)など、難しい場合は動物病院でもさせていただきますので、お気軽にお申し付け下さいね(#^^#)

その子の性格によっては、動物病院でも難しい場合がございます。ご了承下さい。